

平成30年6月25日

平成30年度 学校関係者評価報告書

学校法人高村育英会
国際観光専門学校熱海校
学校関係者評価委員会

平成30年度 学校関係者評価委員

(関係企業等)

植松 司 氏 株式会社ホテルニューアカオ 取締役人事部長
井堀譲治 氏 学校法人加藤学園 加藤学園高等学校総合学部長

(卒業生関係)

矢野 健 氏 国際観光株式会社 営業部 (欠席)

(地域住民)

北島鐵修 氏

以上4名

(同席の本学職員)

板垣典明 校長 自己点検・自己評価実施責任者

1 教育理念・目標

●学校関係者による評価

- ・特になし

2 学校運営

●学校関係者による評価

- ・特になし

3 教育活動

●学校関係者による評価

- ・付帯教育事業に対する取り組みについての自己評価が最低点であるが、至急改善策を講ずることを望む。

4 学修成果

●学校関係者による評価

- ・特になし

5 学生生活支援

●学校関係者による評価

- ・特になし

6 教育環境

●学校関係者による評価

- ・特になし

7 学生の受け入れ

●学校関係者による評価

- ・静岡県東部地区の高校生は、関東圏に目を向けている。
- ・経済的な問題を抱えている生徒も多い。

- ・親の立場では、子供の進学先として、まず地元を考える。
 - ・卒業生が頑張っている実績がある学校を選ぶ。
 - ・奨学金制度の充実も重要な要素である。
 - ・ファイナンシャルプランナーによる学生支援機構奨学金制度の説明会を実施する必要がある。
 - ・住宅供給会社と学校との提携を考えるのも必要ではないか。
 - ・留学生の受け入れは、日本人とのバランスを考えること。
 - ・各種奨学金を利用するより、ホテル委託奨学生制度の利用促進を図る募集活動をした方がよい。職業人スタートからの奨学金返済はかなりの重荷になる。
- 以上の事柄を考え併せて、学校独自の学生募集体制を整えること。

8 財務

●学校関係者による評価

- ・特になし

9 法令等の遵守

●学校関係者による評価

- ・特になし

10 自己点検・自己評価・第三者評価

●学校関係者による評価

- ・第三者評価に対する取り組みについての自己評価が最低点であるが、至急改善策を講ずることを望む。